

2. 2024年度重点方針の総括

- (1) 組合員活動は「食や商品」を中心として産直、健康増進、環境、人権問題など、幅広い年代層からのニーズを捉え、さまざまな企画を展開しました。パルシステムのつどいは組合員の目に留まる広報の工夫や参加のしやすさを追求し、実参加とオンラインで開催しました。

2024年6月総代会では合計336名の総代が出席し全議案可決承認されました。くらしトーク・トークでは、動画を活用した説明やわかりやすさを追求した資料の作成など、総代の理解を深められるよう工夫しました。



パルシステムのつどい

- (2) 「もっといい明日へ 超えてく」^(※) アクションとして「お米で超えてく」「お魚食べよう」をテーマにパルシステムグループ全体でお米とお魚の普及推進に取り組みました。また、産直連続講座や食の安全に関する学習会、青年農業者交流会、商品展示会、生消協県別交流会などを開催し、生産物への想いや背景を共感することで利用の訴求を図りました。センターまつりは4センターで開催しました。稲毛センターと習志野センターでは地元の地域団体と一緒に開催することで地域との連携を深めました。

※これまでの『「ほんもの実感!」くらしづくりアクション』から、2022年度より新運動「もっといい明日へ 超えてく」としてサステナブルな未来に向かい組合員と共に取り組んでいます。

〈「もっといい明日へ 超えてく」5つの超えてく〉

- ①安全安心で、超えてく
- ②ジェンダーフリーで、超えてく
- ③交流で、超えてく
- ④くらし方で、超えてく
- ⑤協同で、超えてく



商品展示会

- (3) 平和の取り組みとして、募金の実施のほか、広島と沖縄で開催されたピースアクションへ参加しました。また、千葉県内の4つの生協および千葉県生協連と連携し、「子どもたちに平和な未来を2024」を開催しました。生活困窮者支援はフードドライブのほか、募金活動に取り組み社会的養護^(※)下で生活する若者を支援しました。環境やエネルギーに関する学習会をパルシステムのつどいを中心に開催したほか、原発事故を風化させない企画の開催や募金活動にも取り組みました。地域コミュニティづくりは「スマホカフェ」や「シニア食堂」など、地域団体や大学と連携した企画を開催しました。

※社会的養護…児童養護施設や里親家庭など社会全体で子どもたちを育て、支援する仕組み。



ピースアクション in オキナワ

- (4) 総事業高362.9億円(前年比101.5%、予算比101.1%)、経常剰余金5.1億円(前年比84.0%、予算比89.7%)となり前年に対して増収減益となりました。
- (5) 人材育成は新人研修、管理職向け研修、中高年層職員向けの研修、産地研修などを実施し、業務に必要な知識・技能の向上やモチベーションアップ、産直への理解につなげました。人事評価制度は、現状の制度を見直し、より適正な評価と人材育成を進めるための調査研究を行いました。雇用定着は業務負荷の軽減と処遇改善等により退職者が大幅に減少しました。また、無店舗事業、夕食宅配事業、家事支援事業においては、初めて夏季休業を実施しました。障がい者雇用とユニバーサル就労の環境整備のため、ジョブコーチ^(※)・ジョブサポーター^(※)の育成を行いました。

※ジョブコーチ…企業在籍型職場適応援助者。障がい者が就業するにあたり、職場見学等の調整や雇用後の面談を実施し、職場に定着できるように支援する役割を担っています。

※ジョブサポーター…障がいのある方が働く職場に入り、直接的な支援を行う役割を担います。



産地研修

(6) 近年頻発する自然災害への備えとして、各事業所の災害対策備品の見直しや災害発生時の初動対応を的確に行うための机上訓練等を実施しました。事業所の衛生管理の取り組みとして5S活動^(※)を推進しました。労災事故はセンター構内や配送部門・介護部門における事故防止対策を強化しましたが、前年から削減することができませんでした。安全運転の取り組みでは事故撲滅の実践に取り組みましたが、事故件数は前年に対して増加となりました。

全部門において内部統制システムや総合業務マニュアルに沿って、法令順守を意識した業務を推進しました。

※ 5S活動…整理・整頓・清掃・清潔・習慣のローマ字表記の頭文字の略で、現場の環境維持や業務効率を上げるための大切な取り組みです。



ハラスメント防止研修

3. 2024年度の損益状況

損益状況

(単位：千円)

	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	前年比	予算比	前年増減
総事業高	35,750,464	35,879,880	36,298,662	101.5%	101.1%	548,197
供給高	34,478,061	34,526,888	35,001,447	101.5%	101.3%	523,386
事業総剰余金	9,127,418	9,255,621	9,269,948	101.5%	100.1%	142,529
事業経費	8,583,128	8,748,660	8,842,820	103.0%	101.0%	259,691
経常剰余金	615,621	576,767	517,432	84.0%	89.7%	△98,188
特別利益	12	—	1,015	8,054.6%	—	1,002
特別損失	13,130	—	6,910	52.6%	—	△6,220
税引前当期剰余金	602,503	576,767	511,537	84.9%	88.6%	△90,965
法人税等	109,148	—	123,026	112.7%	—	13,877
法人税等調整額	26,220	—	△9,261	—	—	△35,481
当期剰余金	467,134	—	397,772	85.1%	—	△69,361
当期首繰越剰余金	45,890	—	32,262	70.3%	—	△13,627
任意積立金取崩額	2,996	—	2,684	89.5%	—	△312
当期末処分剰余金	516,021	—	432,719	83.8%	—	△83,301

第2号議案 2025年度事業活動方針・計画、予算決定の件

2025年度事業・活動方針、予算案

1. 2025年度方針基調

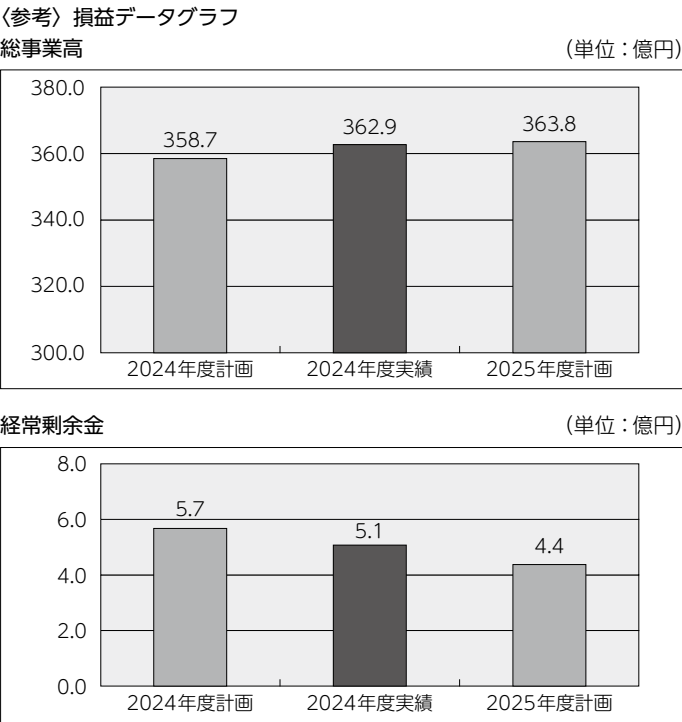
理念「心豊かなくらしと共生の社会を創ります」と2030年ビジョン「つながる力とささえあいの心で笑顔あふれる地域コミュニティをつくります」の進捗と課題を踏まえ、事業と活動を一体的に推進し、組合員の声を大切にしたい運営を行います。将来を見据えた積極的な人材投資と人員体制の充足を経営の最重要課題と位置づけ、事業環境やくらしを取り巻く諸課題の解決に組合員と共に取り組んでいきます。

2. 2025年度重点方針

- (1) 組合員の参加・参画は「組合員活動における中期的課題」に基づき、企画内容や広報、参加しやすい環境づくりの工夫と充実を図り、「継続参加組合員」とあわせて「初参加組合員」を増やします。
- (2) 総代活動は総代の役割と理解を促進し、「くらしトーク・トーク」では参加者の納得感を高める運営をめざします。
- (3) 「もっといい明日へ 超えてく」アクションを推進し、パルシステムの商品政策や取り組みを、学習会を含めたさまざまな活動をととして組合員の理解・共感を広げていきます。
- (4) コミュニティ政策に基づく、平和・貧困問題、環境・エネルギー問題、地域コミュニティづくり等、時勢や継続課題を踏まえ、パルシステム連合会や千葉県生協連、他団体とも連携し取り組みます。
- (5) 自然災害への備え、対応力、労働安全衛生、安全運転、ハラスメント対策、また、関係法令の順守等、内部統制システムの実効性を高め、リスク管理を総合的に強化しコンプライアンス経営を強化します。
- (6) 無店舗事業、店舗事業、夕食宅配事業、家事支援事業、介護事業において、事業ごとの特性や課題を踏まえ対策を講じていきます。引き続き、事業成長と事業構造改革、総合福祉事業の連携を推し進め、総事業高363.8億円（2024年度比100.2%）、経常剰余金4.4億円（2024年度比86.7%）を計画します。
- (7) 将来に向けた人材への投資を積極的に行うとともに、多様化する職員の価値観を大切にしながら、採用・教育・雇用定着を経営の重点課題に据え、さまざまな工夫と対策を講じていきます。

3. 2025年度予算案

損益予算案 (単位：千円)			
勘定科目	2024年度実績	2025年度予算	前年実績比
総事業高	36,298,662	36,380,549	100.2%
供給高	35,001,447	35,043,229	100.1%
供給剰余金	8,321,386	8,385,348	100.7%
福祉事業収入	343,962	379,388	110.2%
福祉事業費用	348,652	354,637	101.7%
福祉剰余金	△4,690	24,751	—
その他事業収入	953,251	957,932	100.4%
事業総剰余金	9,269,948	9,368,031	101.0%
人件費	2,247,957	2,370,142	105.4%
物件費	4,423,897	4,481,200	101.2%
分担費	2,170,965	2,171,008	100.0%
事業経費	8,842,820	9,022,350	102.0%
事業剰余金	427,127	345,681	80.9%
事業外収益	97,169	105,661	108.7%
事業外費用	6,864	2,277	33.1%
経常剰余金	517,432	449,065	86.7%



第3号議案 第18期役員選任の件

第17期役員（理事・監事）の任期終了により、定款第19条および役員選任規約に基づき、2025年6月10日の第36回通常総代会にて、役員候補者（理事18名、監事5名）を第18期役員として選任することを提案します。

第4号議案 監事報酬決定の件

2025年度の監事報酬について、1,900万円（監事5名の総額）を上限に支給することを提案します。

第5号議案 役員退職金支給の件

第17期役員のうち、退任する理事3名、監事2名に対し、当生協の役員退職金規定に基づき、役員退職金を支給します。

※なお、全議案の内容詳細については、パルシステム千葉のホームページよりご覧いただけます。

こちらの二次元コードからも
ご確認いただけます

 議案書①・本冊

 議案書②・分冊

 議案書③・第18期役員選任の件

● 報告
「みなし自由脱退の手続きについて」

パルシステム千葉では消費生活協同組合法及び模範定款例に沿って、理事会において、2022年度から郵送物の送付や電話等でも所在が確認できなかった組合員1,892名を自由脱退とみなして2025年3月末に手続きしました。

第17期 理事・監事一覧	
代表理事	理 事 長 高橋 由美子
代表理事	専 務 理 事 新村 里志
	業務執行理事 石井 佐知子／齋藤 和博／酒井 督史
	理 事 石井 眞紀／石山 明子／井上 郷／北 きよみ／北村 久美子／鷺沼 恵美子／神野 和江／
	高崎 麻衣子／津田 しのぶ／富田 千鶴／仲野 智美／中村 真紀／宮本 朱美／山本 香美
	監 事 猪股 千文／加戸 祐爾／加藤 博美／柴崎 菊恵／相馬 由起子